

第I部 独身者調査の結果概要

第1章 結婚という選択

釜野さおり・別府志海

1. 結婚の意思

結婚する意思をもつ未婚者は9割弱で推移

いずれは結婚しようとする未婚者の割合は、いぜんとして高い水準にあり、18～34歳の男性では85.7%、同女性では89.3%である。一方、「一生結婚するつもりはない」と答える未婚者の微増傾向は続いており、男性では12.0%、女性では8.0%となった。

図表 I -1-1 調査別にみた、未婚者の生涯の結婚意思

生涯の結婚意思		第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第14回 (2010年)	第15回 (2015年)
【男 性】	いずれ結婚するつもり	91.8 %	90.0	85.9	87.0	87.0	86.3	85.7
	一生結婚するつもりはない	4.5	4.9	6.3	5.4	7.1	9.4	12.0
	不詳	3.7	5.1	7.8	7.7	5.9	4.3	2.3
	総数（18～34歳） （客体数）	100.0 (3,299)	100.0 (4,215)	100.0 (3,982)	100.0 (3,897)	100.0 (3,139)	100.0 (3,667)	100.0 (2,705)
【女 性】	いずれ結婚するつもり	92.9 %	90.2	89.1	88.3	90.0	89.4	89.3
	一生結婚するつもりはない	4.6	5.2	4.9	5.0	5.6	6.8	8.0
	不詳	2.5	4.6	6.0	6.7	4.3	3.8	2.7
	総数（18～34歳） （客体数）	100.0 (2,605)	100.0 (3,647)	100.0 (3,612)	100.0 (3,494)	100.0 (3,064)	100.0 (3,406)	100.0 (2,570)

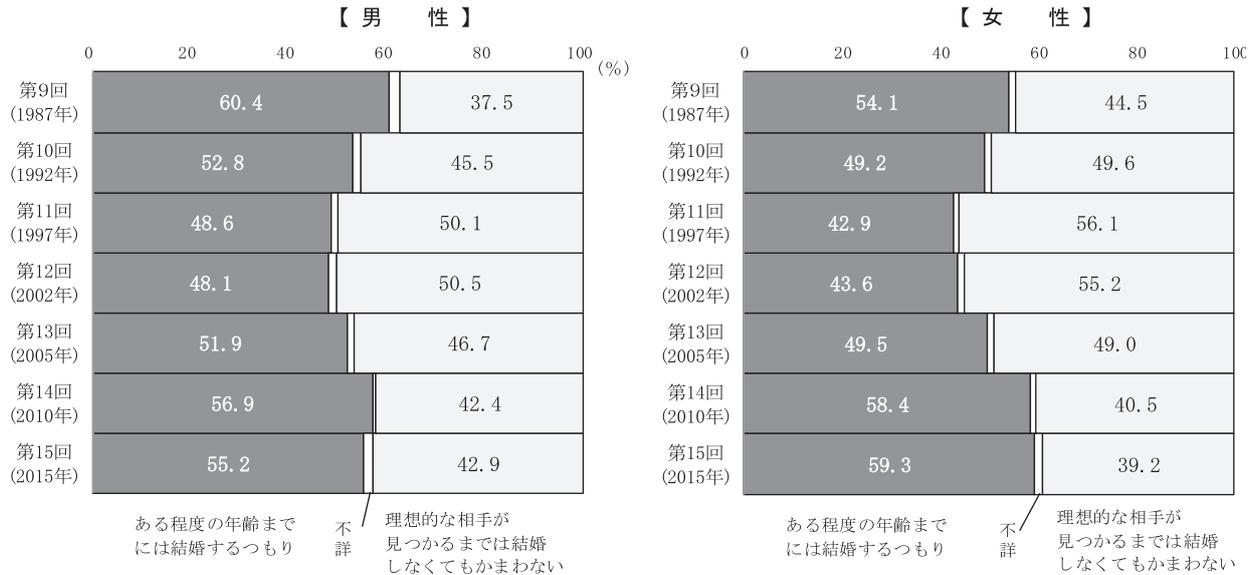
注：対象は18～34歳の未婚者。

設問「自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちのどちらですか。」(1. いずれ結婚するつもり、2. 一生結婚するつもりはない)。

ある程度の年齢までに結婚しようとする未婚者は過半数

結婚する意思のある未婚者のうち、「ある程度の年齢までには結婚するつもり」と考える割合は1990年代を通して減少し、「理想の結婚相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」と考える割合を一旦下回ったが、第13回調査（2005年）では増加傾向に転じ、今回調査では男女ともに半数を超えて推移している。

図表 I -1-2 調査別にみた、結婚意思をもつ未婚者の結婚に対する考え方



注：対象は「いずれ結婚するつもり」と回答した18～34歳の未婚者。客体数は、第9回男性(3,027)、女性(2,420)、第10回男性(3,795)、女性(3,291)、第11回男性(3,420)、女性(3,218)、第12回男性(3,389)、女性(3,085)、第13回男性(2,732)、女性(2,759)、第14回男性(3,164)、女性(3,044)、第15回男性(2,319)、女性(2,296)。
 設問「同じく自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。」(1.ある程度の年齢までには結婚するつもり、2.理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない)。

一年以内に結婚する意思のある未婚者、男性では全年齢層、女性では20代後半で微増

一年以内に結婚する意思のある未婚者の割合^{*}は、全調査期間を通じて、女性の方が男性よりも高い。前回調査と比べると、男性ではすべての年齢層で微増し、18～34歳では45.5%となった。女性では年齢層によって傾向が異なり、20代後半のみで微増した。

^{*}一年以内に結婚する意思のある未婚者の割合とは、「一年以内に結婚したい」と「理想的な相手が見つければ(一年以内に)結婚してもよい」と回答した未婚者を合わせた割合である。

図表 I -1-3 調査・年齢別にみた、未婚者の一年以内の結婚意思

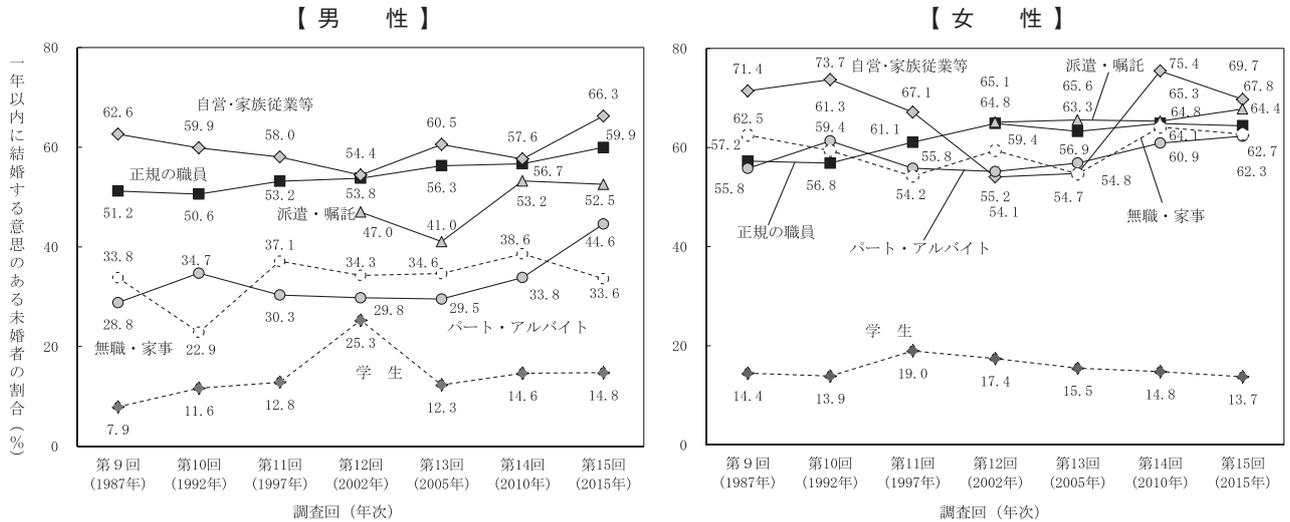
一年以内の結婚意思 年 齢	【 男 性 】							【 女 性 】						
	第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第14回 (2010年)	第15回 (2015年)	第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第14回 (2010年)	第15回 (2015年)
一年以内の結婚意思あり														
18～34歳	40.8%	38.7	42.0	42.2	42.1	43.3	45.5	49.0%	47.8	51.1	52.6	50.1	53.2	52.6
18～24歳	22.5	22.3	27.6	28.0	23.5	26.0	26.9	39.3	36.2	39.5	37.0	32.7	35.1	33.6
25～29歳	66.8	59.6	55.8	53.2	51.6	53.5	58.3	82.0	78.6	71.3	69.5	69.6	72.0	73.4
30～34歳	82.7	83.7	76.6	70.8	69.4	70.0	73.9	83.5	84.1	80.0	82.5	79.4	84.4	82.7
まだ結婚するつもりはない														
18～34歳	57.3%	59.3	56.5	55.9	56.0	55.5	52.6	49.5%	50.7	47.7	46.3	48.8	45.6	45.9
18～24歳	75.8	76.2	70.9	70.4	74.8	73.5	71.3	59.4	62.4	59.6	62.0	66.5	63.6	64.6
25～29歳	31.5	37.5	42.7	45.1	46.3	44.4	39.0	16.6	19.7	26.9	29.3	28.9	27.2	25.7
30～34歳	14.5	12.8	21.5	25.9	28.9	28.6	25.1	13.2	14.0	18.4	16.1	19.4	13.9	15.3
総数(客体数)	(3,027)	(3,795)	(3,420)	(3,389)	(2,732)	(3,164)	(2,319)	(2,420)	(3,291)	(3,218)	(3,085)	(2,759)	(3,044)	(2,296)

注：対象は「いずれ結婚するつもり」と回答した18～34歳の未婚者。
 設問「それでは今から一年以内の結婚に関してはどのようにお考えですか。」(1.一年以内に結婚したい、2.理想的な相手が見つければ結婚してもよい、3.まだ結婚するつもりはない)。図表では不詳割合を省略。ただし、総数には含む。

就業状況によって異なる男性の一年以内の結婚意思

一年以内に結婚する意思のある未婚者の割合を就業状況別にみると、男性では大きな差がみられ、自営・家族従業等、正規の職員で高く、パート・アルバイト、無職・家事などで低い傾向がある。女性では学生を除くと、そのような差はみられない。

図表 I -1-4 調査・就業の状況別にみた、一年以内に結婚する意思のある未婚者割合の推移



注：対象者は「いずれ結婚するつもり」と回答した18～34歳の未婚者。「一年以内に結婚したい」または「理想的な相手が見つければ（一年以内に）結婚してもよい」と回答した未婚者の割合。「派遣・嘱託」の区分は第12回調査で選択肢に追加（第13回調査では、さらに同区分に「契約社員」も追加）。

2. 結婚の利点・独身の利点

「結婚に利点あり」は男性で6割台、女性は7～8割程度で推移

結婚することに利点があると感じている未婚男性は、おおむね6割台で推移している。女性では2000年代からみられる微増傾向が継続し、今回は77.8%となった。

図表 I -1-5 調査別にみた、未婚者の結婚の利点に対する考え

結婚の利点に対する考え	【男性】							【女性】						
	第9回調査(1987年)	第10回(1992年)	第11回(1997年)	第12回(2002年)	第13回(2005年)	第14回(2010年)	第15回(2015年)	第9回調査(1987年)	第10回(1992年)	第11回(1997年)	第12回(2002年)	第13回(2005年)	第14回(2010年)	第15回(2015年)
今のあなたにとって結婚することは														
利点があると思う	69.1%	66.7	64.6	62.3	65.7	62.4	64.3	70.8%	71.4	69.9	69.4	74.0	75.1	77.8
利点はないと思う	25.4	29.1	30.3	33.1	28.6	34.3	33.3	24.7	25.2	25.5	26.3	21.5	22.0	20.7
不詳	5.5	4.2	5.1	4.6	5.7	3.3	2.4	4.5	3.4	4.6	4.3	4.5	2.8	1.5
総数(客数)	100.0 (3,299)	100.0 (4,215)	100.0 (3,982)	100.0 (3,897)	100.0 (3,139)	100.0 (3,667)	100.0 (2,705)	100.0 (2,605)	100.0 (3,647)	100.0 (3,612)	100.0 (3,494)	100.0 (3,064)	100.0 (3,406)	100.0 (2,570)

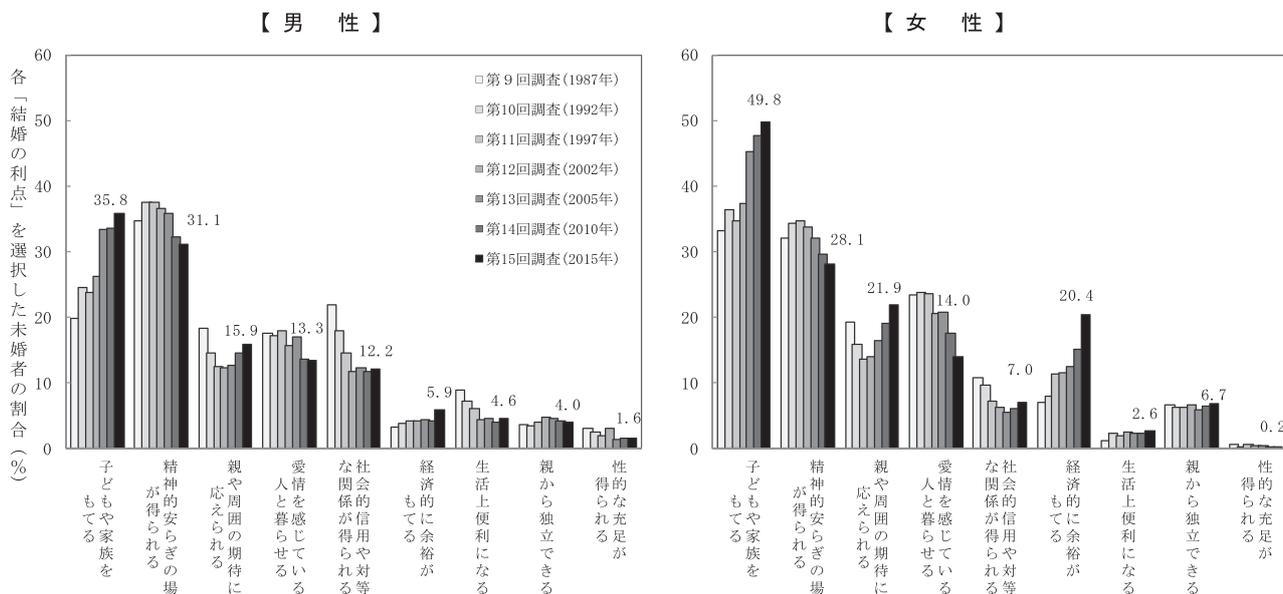
注：対象は18～34歳の未婚者。
設問「今のあなたにとって、結婚することは何か利点があると思いますか。」(1.利点があると思う、2.利点はないと思う)。

結婚の利点、「自分の子どもや家族をもてる」が増加傾向、女性では「経済的に余裕がもてる」も増加

結婚することの具体的な利点のとらえ方をみると、男女とも「自分の子どもや家族をもてる」

を挙げる人の増加傾向は、第9回調査（1987年）からほぼ一貫して続いている。2000年代以降、「精神的安らぎの場が得られる」と「愛情を感じている人と暮らせる」は減少傾向、「親や周囲の期待に応えられる」は増加傾向にある。また、女性では「経済的に余裕がもてる」が増加傾向にあり、今回初めて2割を超えた。

図表 I -1-6 調査別にみた、各「結婚の利点」を選択した未婚者の割合



注：対象は18～34歳の未婚者。何%の人が各項目を主要な結婚の利点（2つまで選択）として考えているかを示す。グラフ上の数値は第15回調査のもの。

「独身に利点あり」は男女とも8割台で推移

独身生活に利点があると考えている未婚者は男女とも高い割合を維持しており、男性では83.5%、女性では88.7%である。

図表 I -1-7 調査別にみた、未婚者の独身生活の利点に対する考え

独身生活の利点に対する考え	【男性】							【女性】						
	第9回調査(1987年)	第10回(1992年)	第11回(1997年)	第12回(2002年)	第13回(2005年)	第14回(2010年)	第15回(2015年)	第9回調査(1987年)	第10回(1992年)	第11回(1997年)	第12回(2002年)	第13回(2005年)	第14回(2010年)	第15回(2015年)
今のあなたにとって独身生活は														
利点があると思う	83.0%	83.6	82.7	79.8	83.8	81.0	83.5	89.7%	89.0	88.5	86.6	87.2	87.6	88.7
利点はないと思う	10.7	11.2	11.6	14.6	10.3	15.6	13.8	5.4	7.4	7.2	8.6	7.6	9.2	9.5
不詳	6.3	5.2	5.7	5.6	5.9	3.4	2.7	4.9	3.6	4.3	4.8	5.1	3.2	1.8
総数(客体数)	100.0 (3,299)	100.0 (4,215)	100.0 (3,982)	100.0 (3,897)	100.0 (3,139)	100.0 (3,667)	100.0 (2,705)	100.0 (2,605)	100.0 (3,647)	100.0 (3,612)	100.0 (3,494)	100.0 (3,064)	100.0 (3,406)	100.0 (2,570)

注：対象は18～34歳の未婚者。

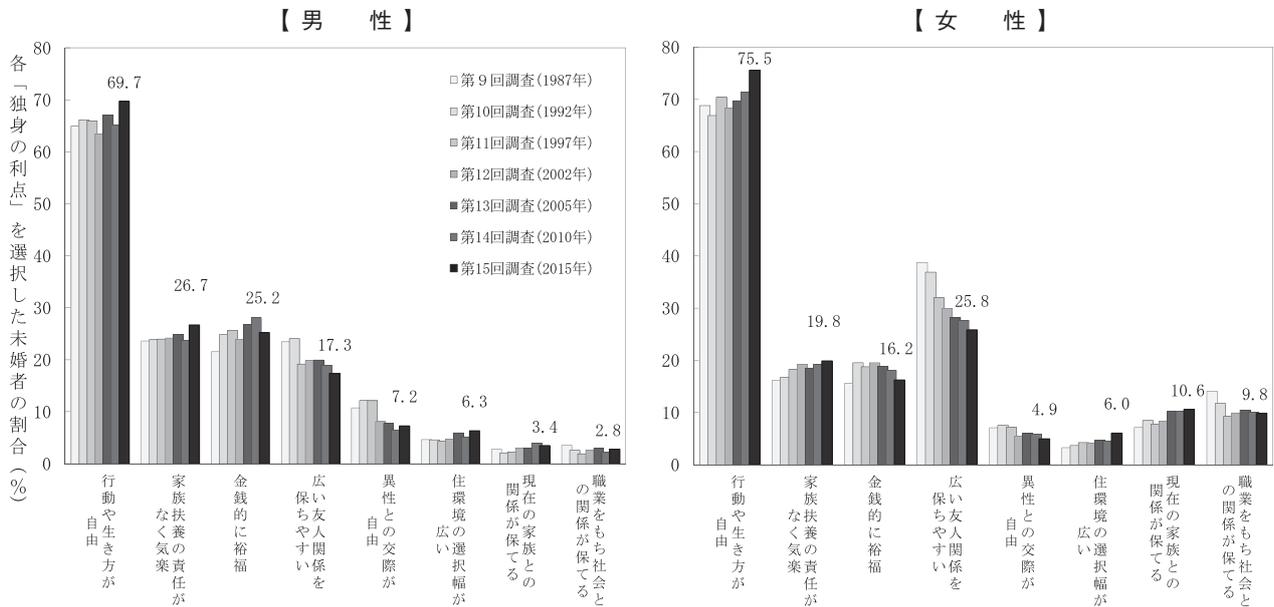
設問「それでは逆に今のあなたにとって、独身生活には結婚生活にはない利点があると思いますか。」(1. 利点があると思う、2. 利点はないと思う) (結婚の利点についての質問に次いで、たずねた問い。)

独身生活の最大の利点は「行動や生き方が自由」であること

独身生活の利点は、男女ともに「行動や生き方が自由」を挙げる人が圧倒的に多く、男性では69.7%、女性では75.5%であった。それ以外では「金銭的に裕福」、「家族扶養の責任がなく気

楽」、「広い友人関係を保ちやすい」が比較的多い。これらの傾向は第9回調査（1987年）以降ほとんど変わっておらず、結婚すると行動や生き方、金銭、友人関係などが束縛されるという未婚者の感じ方は根強い。ただし女性では、友人関係が束縛されるという意識は弱まってきている。

図表 I -1-8 調査別にみた、各「独身生活の利点」を選択した未婚者の割合



注：対象は18～34歳の未婚者。何%の人が各項目を主要な独身生活の利点（2つまで選択）として考えているかを示す。グラフ上の数値は第15回調査のもの。

3. 結婚へのハードルと独身でいる理由

「結婚の障害あり」は男女とも約7割

18歳以上35歳未満の「いずれ結婚するつもり」と回答した未婚者に、「現在交際している人と（あるいは理想的な相手が見つかった場合）、一年以内に結婚するとしたら何か障害になることがある」かどうかをたずねたところ、男性68.3%、女性70.3%の者から結婚することについて何らかの障害があると回答があった。前回調査（2010年）と比べると、男性は0.2ポイント増加したが、女性は1.2ポイント減少した。

図表 I -1-9 調査別にみた、未婚者の結婚の障害の有無

一年以内に結婚するとしたら	【男性】						【女性】					
	第9回(1987年)	第10回(1992年)	第11回(1997年)	第12回(2002年)	第14回(2010年)	第15回(2015年)	第9回(1987年)	第10回(1992年)	第11回(1997年)	第12回(2002年)	第14回(2010年)	第15回(2015年)
障害になることがあると思う	67.1%	67.9	65.0	64.5	68.1	68.3	69.2%	71.3	67.8	70.1	71.5	70.3
障害になることはないと思う	24.5	25.6	28.2	24.9	26.4	26.4	24.5	23.5	27.2	25.0	23.8	24.9
不詳	8.5	6.6	6.9	10.7	5.5	5.3	6.3	5.2	5.0	5.0	4.8	4.8
総数(18～34歳) (客 体 数)	100.0% (3,027)	100.0 (3,795)	100.0 (3,420)	100.0 (3,389)	100.0 (3,164)	100.0 (2,319)	100.0% (2,420)	100.0 (3,291)	100.0 (3,218)	100.0 (3,085)	100.0 (3,044)	100.0 (2,296)

注：「いずれ結婚するつもり」と回答した18～34歳未婚者。

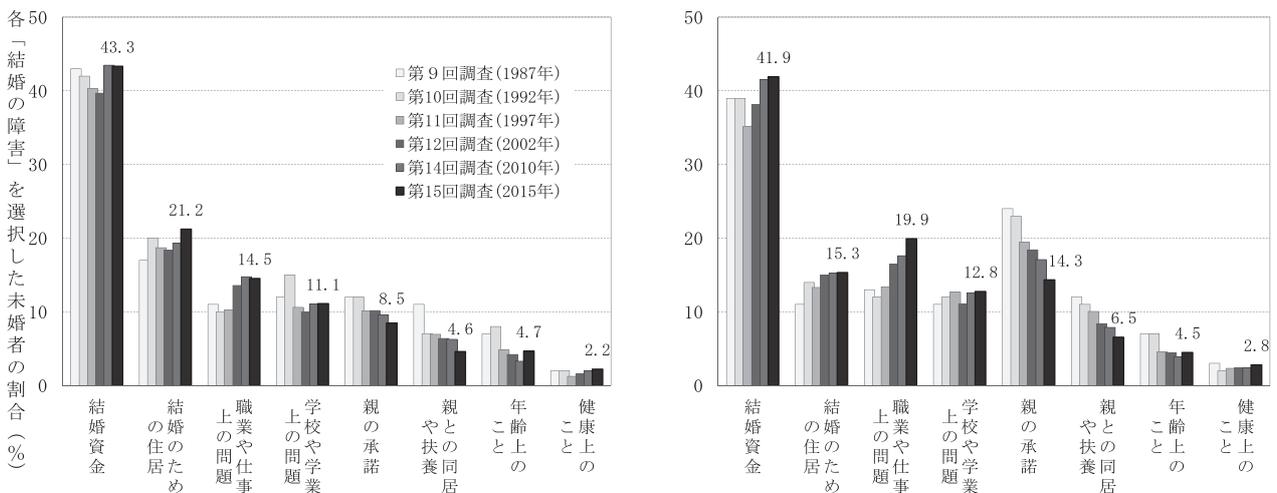
結婚の障害は「結婚資金」が最多

結婚意思のある未婚者に、一年以内に結婚するとしたら何か障害となるかがあるかをたずねたところ、男女とも「結婚資金」を挙げた人が最も多く（男性43.3%、女性41.9%）、前回とほぼ同水準であった。また「職業や仕事上の問題」を障害に挙げる人が増えている一方で、「親の承諾」、「親との同居や扶養」を結婚の障害と考える人が減っている。こうした傾向は特に女性で顕著である。

図表 I -1-10 調査別にみた、結婚の障害の内容

【男 性】

【女 性】



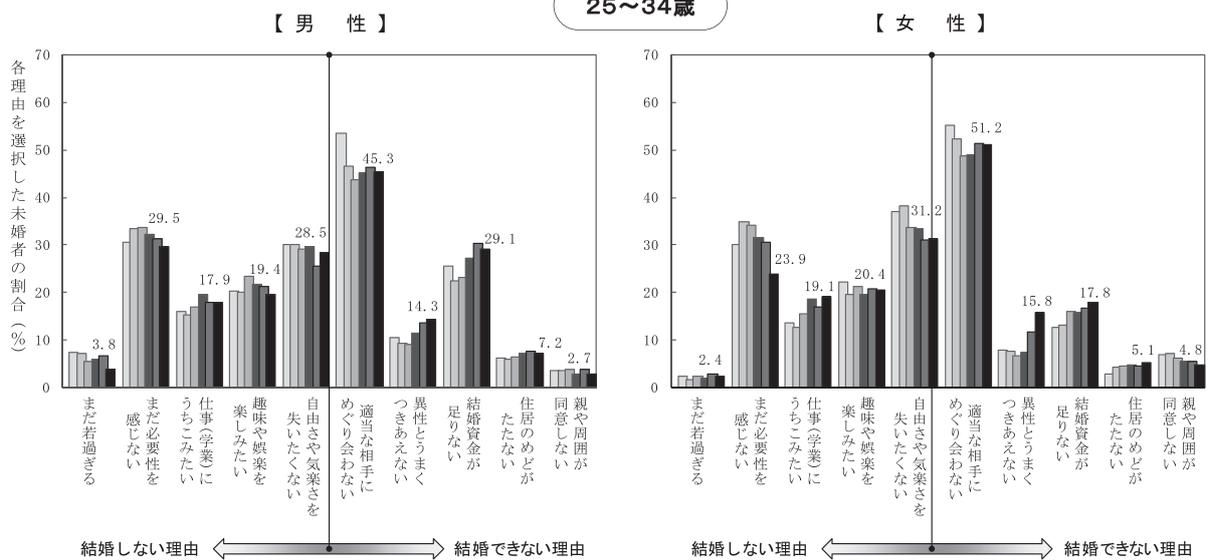
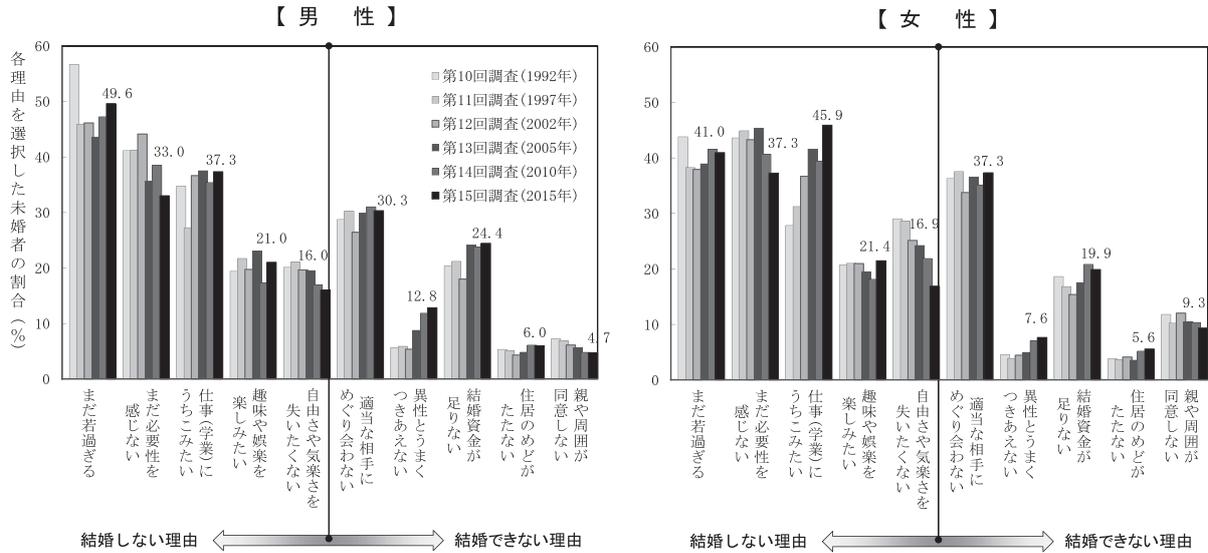
注：18～34歳未婚者のうち何%の人が各項目を結婚の主要な障害（二つまで選択）と考えているかを示す。グラフ上の数値は第15回調査の結果。

独身でいる理由は、結婚をする積極的理由の欠如や、25歳を過ぎると適当な相手がいないこと

結婚意思のある未婚者に独身でいる理由をたずねたところ、若い年齢層（18～24歳）では「（結婚するには）まだ若すぎる」、「まだ必要性を感じない」「仕事（学業）にうちこみたい」など、結婚するための積極的な動機がないこと（“結婚しない理由”）が多く挙げられている。今回は特に女性で「仕事（学業）にうちこみたい」が増加し、18～24歳ではもっとも多い理由となった。一方、25～34歳の年齢層では、「適当な相手にまだめぐり会わない」などの結婚の条件が整わないこと（“結婚できない理由”）へ重心が移る。しかし、この年齢層でも「自由さや気楽さを失いたくない」、「まだ必要性を感じない」と考える未婚者は多い。

図表 I -1-11 調査・年齢別にみた、各「独身にとどまっている理由」の選択割合

18～24歳



注：対象は18～34歳の未婚者。何%の人が各項目を独身にとどまっている理由（3つまで選択）として挙げているかを示す。グラフ上の数値は第15回調査のもの。

設問「あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。ご自分に最もあてはまると思われる理由を最高3つまで選んで、右の回答欄に番号を記入してください（すでに結婚が決まっている方は、「最大の理由」の欄に12を記入してください。）」

4. 結婚意思のない未婚者の意思の変化

結婚意思のない男性の約4割、女性の半数が、過去には「いずれ結婚するつもり」と考えた経験あり

「一生結婚するつもりはない」と回答した未婚者（1.（1）参照）に、「これまででいずれ結婚するつもりと思ったことがあるか」をたずねたところ、「ある」と回答した割合は、18～34歳で男性41.4%、女性50.7%であった。

図表 I -1-12 これまでに「いずれ結婚するつもりがある」と思った経験の有無：
第15回調査（2015年）（結婚意思のない未婚者）

年 齢	(結婚意思のない未婚者の割合)	【男 性】					【女 性】				
		総数 (客体数)	ある	ない	不詳	総数 (客体数)	ある	ない	不詳		
18～24歳	9.2 %	100.0 % (123)	39.8 %	56.9	3.3	6.1 %	100.0 % (85)	48.2 %	50.6	1.2	
25～34歳	14.7	100.0 (201)	42.3	55.7	2.0	10.3	100.0 (120)	52.5	47.5	-	
総 数 (18～34歳)	12.0	100.0 (324)	41.4	56.2	2.5	8.0	100.0 (205)	50.7	48.8	0.5	

注：対象は、生涯の結婚意思を問う設問に「一生結婚するつもりはない」と回答した未婚者。各年齢層の未婚者のうち「一生結婚するつもりはない」と回答した者の割合は、図表の「結婚意思のない者の割合」に示す。「ある」「ない」「不詳」の割合は、これらの未婚者に対する下記設問に対する回答分布である。

設問「現在のお気持ちは別として、これまでに「いずれ結婚するつもり」と思ったことはありますか。」(1.ある、2.ない)。

今後「いずれ結婚するつもり」に変わる可能性があるとする未婚者は4～5割

「一生結婚するつもりはない」と回答した未婚者に、今後結婚の意思が変わる可能性があるかをたずねたところ、「ある」と回答した割合*は、男性では44.1%、女性では49.8%であった。

*「ある」と回答した割合は、「あると思う」と「あるかもしれない」と回答した未婚者を合わせたものである。

図表 I -1-13 今後「いずれ結婚するつもり」に変わる可能性の有無：
第15回調査（2015年）（結婚意思のない未婚者）

年 齢	総数 客体数	ある	ない			不詳			
			あると思う	あるかもしれない	たぶんないと思う		ないと思う		
【男性】	18～24歳	100.0 % (123)	41.5	13.0	28.5	46.3	17.1	29.3	12.2
	25～34歳	100.0 (201)	45.8	12.9	32.8	49.8	15.9	33.8	4.5
	総 数 (18～34歳)	100.0 (324)	44.1	13.0	31.2	48.5	16.4	32.1	7.4
【女性】	18～24歳	100.0 % (85)	52.9	9.4	43.5	43.5	17.6	25.9	3.5
	25～34歳	100.0 (120)	47.5	5.8	41.7	45.8	25.8	20.0	6.7
	総 数 (18～34歳)	100.0 (205)	49.8	7.3	42.4	44.9	22.4	22.4	5.4

注：対象は、生涯の結婚意思を問う設問に「一生結婚するつもりはない」と回答した未婚者。各年齢層の未婚者のうち「一生結婚するつもりはない」と回答した者の割合は、図表 I -1-12の「結婚意思のない者の割合」に示す。「ある」「ない」「不詳」の割合は、これらの未婚者に対する下記設問に対する回答分布である。

設問「今後、(1)あなたのお考えが「いずれ結婚するつもり」に変わる可能性はありますか。あてはまる番号に○をつけてください。」(1.あると思う、2.あるかもしれない、3.たぶんないと思う、4.ないと思う)。

「いずれ結婚するつもり」に変わる可能性があるとした場合の理由は、相手の出現、収入増が主

今後「いずれ結婚するつもり」に変わる可能性があるとして回答した未婚者に、変わるとした場合の理由をたずねたところ、相手の出現、経済面の改善、本人や家族の事情の変化が多く選択された。

図表 I -1-14 今後「いずれ結婚するつもり」に変わる可能性があるとした場合の理由：
第15回調査（2015年）（結婚意思のない未婚者）

(客体数)	結婚したいと思う相手が見える	異性と出会う機会が増える	収入や貯蓄が増える	雇用・労働条件が改善する	自分や家族の個人的事情が変わる	子どもができる	家事・育児を男女で分けあう社会になる	家族を養う責任を男女ともに担う社会になる	子育て支援策が充実する	結婚に関する法律や制度が変わる	その他
【男性】 (196)	74.5%	26.0	54.6	33.7	26.5	9.2	3.1	9.7	7.7	6.6	1.0
【女性】 (148)	68.2%	16.2	34.5	16.9	34.5	6.1	18.9	8.8	10.8	16.2	5.4

注：対象は18～34歳の未婚者。今後「いずれ結婚するつもり」に変わる可能性があるとして回答した未婚者に占める各選択肢の選択割合を示す。

第2章 異性との交際

余田翔平

1. 異性の交際相手

異性の交際相手をもたない未婚者が増加、男性で7割、女性で6割

図表 I -2-1 は、異性の交際相手の有無を調査年次別に示したものである。「交際している異性はいない」と回答した未婚者の割合は男性69.8%（前回61.4%）、女性59.1%（同49.5%）といずれも前回から上昇した。また、交際相手をもたず、かつ交際を望んでいない未婚者は、男性では全体の30.2%、女性では25.9%を占めている。一方、結婚をしたいと思う交際相手をもつ割合は、男性16.0%（前回18.4%）、女性24.5%（同27.0%）である。

交際相手をもたない未婚者の割合を年齢別に比較すると（図表 I -2-2）、男女いずれの年齢層においても上昇していることがわかる。ただし、これはあくまで未婚者のみのサンプルにもとづいた集計であるため、高年齢になるほど結婚した人が集計対象から抜け落ちていくというセレクションに注意する必要がある。

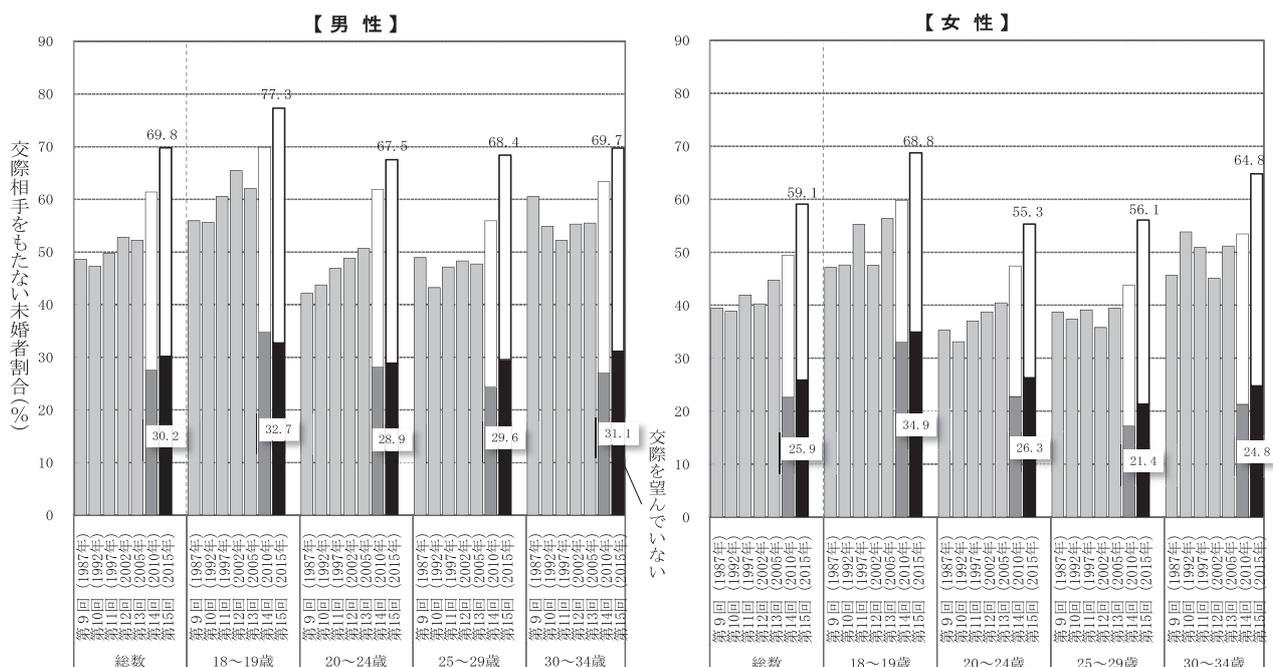
そこで、図表 I -2-3 には、既婚者（離死別者・有配偶者）も含めた交際状況の構成を調査年次別・年齢別に示した。離死別者、有配偶者、未婚者の構成割合は、国勢調査から推定される調査年次の配偶関係構成にもとづいている。男女ともに20歳以降で有配偶者割合が低下し、未婚者割合が上昇している。一方、離死別者割合は、有配偶者割合、未婚者割合と比較すると変化が小さい。こうした配偶関係構造の変化を考慮してもなお、交際相手のいない未婚者割合は上昇していることがわかる。

図表 I -2-1 調査別にみた、未婚者の異性との交際の状況

異性との交際 交際相手との結婚希望／交際の希望	【 男 性 】							【 女 性 】						
	第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第14回 (2010年)	第15回 (2015年)	第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第14回 (2010年)	第15回 (2015年)
婚約者がいる	2.9 %	3.2	2.9	2.7	2.9	1.8	1.6	4.6 %	3.9	3.8	3.9	4.8	3.1	2.9
恋人として交際している異性がいる	19.4	23.1	23.3	22.4	24.3	22.8	19.7	26.2	31.6	31.6	33.1	31.9	30.9	27.3
結婚したいと思っている とくに結婚は考えていない	…	15.1	15.5	13.2	15.9	15.1	13.5	…	20.8	20.0	21.9	21.0	21.9	19.7
友人として交際している異性がいる	…	7.7	7.3	8.7	8.1	7.4	5.8	…	10.4	11.2	10.4	10.2	8.5	7.1
結婚したいと思っている とくに結婚は考えていない	…	2.3	2.2	1.6	1.8	1.5	1.0	…	2.2	2.4	2.1	1.5	2.0	1.9
友人として交際している異性がいる	23.6	19.2	15.3	11.3	14.0	9.4	5.9	25.4	19.5	15.9	12.4	12.9	11.9	7.7
結婚したいと思っている とくに結婚は考えていない	…	16.4	12.6	9.1	11.9	7.6	4.6	…	16.6	12.9	9.9	11.3	9.6	5.3
交際している異性はない	48.6	47.3	49.8	52.8	52.2	61.4	69.8	39.5	38.9	41.9	40.3	44.7	49.5	59.1
交際を望んでいる とくに異性との交際を望んでいない	…	…	…	…	…	32.6	31.9	…	…	…	…	…	25.7	26.0
…	…	…	…	…	…	27.6	30.2	…	…	…	…	…	22.6	25.9
不詳	5.5	7.2	8.7	10.9	6.6	4.6	3.1	4.3	6.3	6.8	10.2	5.7	4.6	3.0
(再掲)結婚したい交際相手あり	…	20.6	20.6	17.5	20.5	18.4	16.0	…	26.8	26.2	27.9	27.3	27.0	24.5
総数 (18~34歳) (客 体 数)	100.0 % (3,299)	100.0 (4,215)	100.0 (3,982)	100.0 (3,897)	100.0 (3,139)	100.0 (3,667)	100.0 (2,705)	100.0 % (2,605)	100.0 (3,647)	100.0 (3,612)	100.0 (3,494)	100.0 (3,064)	100.0 (3,406)	100.0 (2,570)

注：対象は18～34歳未婚者。「結婚したい交際相手」には婚約者を含む。「交際相手との結婚希望」および「交際の希望」における不詳割合は掲載を省略。ただし、構成にはこれらを含む。
設問「あなたには現在、交際している異性がありますか。」交際している異性がいる場合「(最も親しい)交際相手との結婚の希望」、交際している異性がない場合「異性との交際の希望」。

図表 I -2-2 調査・年齢別にみた、交際相手をもたない未婚者の割合と交際の希望



注：図表 I -2-1に同じ。異性の交際相手（婚約者、異性の恋人、異性の友人）をもたない未婚者の割合。交際の希望は第14・15回調査のみ。図中の数値は第15回調査のもの。

設問「あなたには現在、交際している異性がありますか。」において交際している異性がない場合、「異性との交際の希望」(1.交際を望んでいる、2.とくに異性との交際を望んでいない)。

図表 I -2-3 調査・年齢別にみた、パートナーシップ構成

年 齢	調査(調査年次)	総数	離死別	有配偶	未 婚					
					婚約者がいる	て恋 人 と し て 交 際 し て い る 異 性 が い る	て友 人 と し て 交 際 し て い る 異 性 が い る	は交 際 し て い る 異 性 が い る	不 詳	
【男 性】	18～19歳	第9回調査(1987年)	100.0%	0.0%	0.6	0.2	13.7	24.0	55.5	6.0
		第10回調査(1992年)	100.0	0.0	0.6	0.1	15.9	18.8	55.3	9.3
		第11回調査(1997年)	100.0	0.0	0.7	0.2	15.0	15.2	60.1	8.8
		第12回調査(2002年)	100.0	0.0	0.9	0.3	15.2	9.0	64.8	9.8
		第13回調査(2005年)	100.0	0.0	0.8	0.5	16.0	14.6	61.6	6.6
		第14回調査(2010年)	100.0	0.1	0.7	0.0	15.7	8.4	69.3	5.7
	第15回調査(2015年)	100.0	0.1	0.7	0.5	13.7	5.7	76.7	2.6	
	20～24歳	第9回調査(1987年)	100.0	0.1	7.0	2.3	22.6	24.0	39.1	4.8
		第10回調査(1992年)	100.0	0.2	6.4	1.6	25.7	19.4	40.9	5.9
		第11回調査(1997年)	100.0	0.2	6.6	1.5	26.4	13.8	43.7	7.8
		第12回調査(2002年)	100.0	0.3	6.6	1.7	25.4	12.1	45.5	8.5
		第13回調査(2005年)	100.0	0.3	6.2	1.6	26.4	12.6	47.3	5.6
		第14回調査(2010年)	100.0	0.3	5.7	0.8	22.3	8.7	58.2	3.9
	第15回調査(2015年)	100.0	0.2	4.8	0.2	21.7	5.6	64.1	3.4	
	25～29歳	第9回調査(1987年)	100.0	0.6	37.3	3.6	12.3	12.5	30.4	3.3
第10回調査(1992年)		100.0	0.7	33.5	4.9	16.6	11.6	28.5	4.3	
第11回調査(1997年)		100.0	0.9	31.1	3.8	15.8	10.8	32.1	5.5	
第12回調査(2002年)		100.0	1.0	28.9	3.1	17.9	6.9	33.8	8.3	
第13回調査(2005年)		100.0	1.1	27.4	3.5	19.4	9.8	34.1	4.6	
第14回調査(2010年)		100.0	1.1	27.1	2.3	19.1	7.5	40.1	2.7	
第15回調査(2015年)	100.0	0.9	26.3	2.3	15.7	3.2	49.7	1.8		
30～34歳	第9回調査(1987年)	100.0	1.5	68.8	0.9	2.5	6.4	18.0	1.9	
	第10回調査(1992年)	100.0	1.6	64.0	1.9	4.9	6.0	18.9	2.8	
	第11回調査(1997年)	100.0	1.9	58.8	1.7	6.5	6.2	20.5	4.4	
	第12回調査(2002年)	100.0	2.2	53.5	2.0	6.2	5.5	24.5	6.1	
	第13回調査(2005年)	100.0	2.3	50.6	1.4	8.9	7.0	26.1	3.7	
	第14回調査(2010年)	100.0	2.2	50.4	1.1	9.3	4.2	30.0	2.8	
第15回調査(2015年)	100.0	2.1	50.8	1.1	7.8	3.8	32.8	1.6		
35～39歳	第9回調査(1987年)	-	-	-	-	-	-	-	-	
	第10回調査(1992年)	100.0	2.5	77.2	0.3	1.3	4.2	11.9	2.6	
	第11回調査(1997年)	100.0	2.8	73.3	0.7	2.5	3.7	15.3	1.7	
	第12回調査(2002年)	100.0	3.4	68.8	0.4	3.0	2.5	17.7	4.2	
	第13回調査(2005年)	100.0	3.8	65.1	0.8	3.9	4.1	20.3	2.1	
	第14回調査(2010年)	100.0	3.5	60.8	0.4	3.9	4.4	23.9	3.0	
第15回調査(2015年)	100.0	3.2	61.7	0.5	4.3	2.2	26.9	1.1		
【女 性】	18～19歳	第9回調査(1987年)	100.0%	0.0%	1.9	1.1	18.3	28.5	46.2	4.0
		第10回調査(1992年)	100.0	0.0	1.5	0.7	24.9	19.4	46.9	6.6
		第11回調査(1997年)	100.0	0.1	1.5	0.3	21.3	16.2	54.4	6.2
		第12回調査(2002年)	100.0	0.1	1.7	0.3	26.9	12.8	46.7	11.5
		第13回調査(2005年)	100.0	0.1	1.6	0.5	25.8	12.5	55.4	4.0
		第14回調査(2010年)	100.0	0.1	1.3	0.2	25.7	8.9	59.0	4.8
	第15回調査(2015年)	100.0	0.1	1.1	0.3	19.7	6.2	67.9	4.7	
	20～24歳	第9回調査(1987年)	100.0	0.4	16.5	3.9	25.8	20.8	29.3	3.2
		第10回調査(1992年)	100.0	0.5	13.3	3.1	32.3	17.4	28.5	4.8
		第11回調査(1997年)	100.0	0.6	12.2	2.8	32.5	14.1	32.3	5.6
		第12回調査(2002年)	100.0	0.8	11.0	2.5	32.7	10.9	34.2	8.0
		第13回調査(2005年)	100.0	0.9	10.4	2.6	33.3	12.2	35.9	4.8
		第14回調査(2010年)	100.0	0.8	9.5	1.6	33.0	9.5	42.5	3.0
	第15回調査(2015年)	100.0	0.7	8.0	1.0	29.8	7.5	50.5	2.5	
	25～29歳	第9回調査(1987年)	100.0	1.7	64.4	3.2	8.5	7.7	13.1	1.5
第10回調査(1992年)		100.0	1.8	55.2	3.6	12.5	7.7	16.1	3.1	
第11回調査(1997年)		100.0	2.1	47.7	3.7	15.5	7.3	19.6	4.0	
第12回調査(2002年)		100.0	2.5	41.8	4.1	19.0	6.7	19.9	5.9	
第13回調査(2005年)		100.0	2.7	38.2	5.8	19.1	7.2	23.3	3.6	
第14回調査(2010年)		100.0	2.6	37.1	3.8	18.7	8.5	26.4	2.9	
第15回調査(2015年)	100.0	2.3	36.3	4.0	17.1	4.4	34.4	1.5		
30～34歳	第9回調査(1987年)	100.0	3.3	85.1	0.4	2.3	2.5	5.3	1.0	
	第10回調査(1992年)	100.0	3.4	80.8	0.5	3.0	2.8	8.5	1.0	
	第11回調査(1997年)	100.0	3.9	74.0	0.8	4.9	3.8	11.2	1.3	
	第12回調査(2002年)	100.0	4.7	66.9	1.1	7.7	3.7	12.8	3.1	
	第13回調査(2005年)	100.0	5.1	62.8	1.7	7.6	4.0	16.4	2.4	
	第14回調査(2010年)	100.0	4.7	60.8	1.4	7.5	4.9	18.5	2.4	
第15回調査(2015年)	100.0	4.4	61.0	1.1	6.9	3.1	22.4	1.1		
35～39歳	第9回調査(1987年)	-	-	-	-	-	-	-	-	
	第10回調査(1992年)	100.0	5.0	86.6	0.1	1.0	1.8	4.7	0.7	
	第11回調査(1997年)	100.0	5.4	83.2	0.3	2.1	1.6	6.5	0.9	
	第12回調査(2002年)	100.0	6.6	77.8	0.4	3.2	1.5	8.0	2.6	
	第13回調査(2005年)	100.0	7.5	73.8	0.5	3.3	2.4	10.4	2.2	
	第14回調査(2010年)	100.0	7.1	69.8	0.4	3.6	1.8	15.7	1.6	
第15回調査(2015年)	100.0	6.4	69.8	0.4	3.3	1.8	17.0	1.4		

注：国勢調査から推定される本調査（第9回～第15回）各年次の配偶関係構成（離死別、有配偶、未婚）と、本調査から得られる未婚者の交際状況から各年齢層でのパートナーシップの状況を推定したもの。

2. 性経験

性経験のない未婚者割合は上昇に転じる

異性との性交渉の経験がない未婚者割合を図 I -2-4 に示した。性経験がない未婚者割合は、男女ともに1990年代前半までは減少傾向にあった。しかし、この傾向は男性では1990年代後半、女性では2000年代初頭から歯止めがかかり、その後、性経験のない未婚者割合は上昇に転じている。今回調査では、30代前半の男性を除き男女ともにすべての年齢層において、性経験がないと回答した未婚者の割合が前回よりも上昇した。

図表 I -2-4 調査・年齢別にみた、性経験の有無別未婚者の割合

年 齢	性経験なし							性経験あり							
	第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第14回 (2010年)	第15回 (2015年)	第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第14回 (2010年)	第15回 (2015年)	
【男 性】	18～19歳	71.9 %	70.9	64.9	64.2	60.7	68.5	72.8	24.3 %	25.1	31.9	33.3	31.5	26.0	23.4
	20～24歳	43.0	42.5	35.8	34.2	33.6	40.5	47.0	52.7	54.8	60.0	60.1	57.5	56.3	48.9
	25～29歳	30.0	24.8	25.3	25.6	23.2	25.1	31.7	66.6	71.3	70.6	69.3	66.0	71.7	65.1
	30～34歳	27.1	22.7	23.4	23.4	24.3	26.1	25.6	68.3	72.3	71.3	71.0	64.3	69.9	70.1
	総数(18～34歳)	43.1 %	41.5	35.7	35.3	31.9	36.2	42.0	53.0 %	54.9	60.1	59.8	58.2	60.2	54.2
参考(35～39歳)	…	26.4	26.1	24.8	26.5	27.7	26.0	…	70.1	70.4	69.3	64.8	68.8	69.9	
【女 性】	18～19歳	81.0 %	77.3	68.3	62.9	62.5	68.1	74.5	17.4 %	20.7	28.2	32.3	31.8	28.1	20.5
	20～24歳	64.4	53.0	42.6	38.3	36.3	40.1	46.5	31.9	42.0	52.0	55.7	54.2	54.9	49.3
	25～29歳	53.5	44.4	34.1	26.3	25.1	29.3	32.6	40.0	46.7	58.3	64.8	60.4	63.4	61.3
	30～34歳	44.4	40.9	28.8	26.6	26.7	23.8	31.3	38.8	49.8	61.3	62.8	55.0	68.2	60.4
	総数(18～34歳)	65.3 %	56.3	43.5	37.3	36.3	38.7	44.2	30.2 %	38.3	50.5	55.4	52.1	55.3	50.3
参考(35～39歳)	…	41.3	30.9	28.4	21.6	25.5	33.4	…	48.6	57.0	61.6	56.9	64.4	56.3	

注：対象は18～34歳の未婚者。客体数：第9回（男性3,299、女性2,605）、第10回（男性4,215、女性3,647）、第11回（男性3,982、女性3,612）、第12回（男性3,897、女性3,494）、第13回（男性3,139、女性3,064）、第14回（男性3,667、女性3,406）、第15回（男性2,705、女性2,570）。性経験不詳の割合は掲載を省略。

設問「あなたはこれまでに異性と性交渉をもったことがありますか。」(1. ある、2. ない)。ただし、第13回調査の選択肢は、(1. 過去1年以内にある、2. 過去1年以内にはないが、以前にはある、3. ない)。

性経験のある未婚男女の9割近くが避妊を実行

性経験のある18～34歳の未婚男女に、一番最近の経験における避妊実行の有無をたずねたところ、男性の89.1%、女性の87.4%が避妊をしたと回答した（図表 I -2-5）。避妊の方法別にみると（図表 I -2-6）、コンドームの使用が男性で95.2%、女性で90.4%と圧倒的に多い。ピル（経口避妊薬）の使用は男性で2.1%、女性では5.4%であり、前回調査（第13回（2005年））と比較すると、男女ともにわずかに増加している。

図表 I -2-5 年齢別にみた、性経験のある未婚者の避妊の実行状況：第15回調査（2015年）

年 齢	【男 性】					【女 性】				
	総 数	(客 体 数)	避 妊 し た	避 妊 し な か っ た	不 詳	総 数	(客 体 数)	避 妊 し た	避 妊 し な か っ た	不 詳
18～19歳	100.0 %	(98)	90.8	9.2	-	100.0 %	(78)	88.5	10.3	1.3
20～24歳	100.0	(451)	91.6	7.1	1.3	100.0	(504)	89.7	9.5	0.8
25～29歳	100.0	(513)	90.4	8.2	1.4	100.0	(462)	87.7	11.5	0.9
30～34歳	100.0	(403)	84.1	13.2	2.7	100.0	(249)	81.9	16.1	2.0
総数(18～34歳)	100.0 %	(1,465)	89.1	9.3	1.6	100.0 %	(1,293)	87.4	11.5	1.1
(参考) 第13回調査 (2005年) 18～34歳総数	100.0 %	(1,827)	84.7	14.6	0.7	100.0 %	(1,595)	82.4	16.5	1.1
(参考) 第11回調査 (1997年) 18～34歳総数	100.0 %	(2,395)	76.4	19.5	4.2	100.0 %	(1,823)	70.5	26.1	3.5

注：対象は異性と性交渉の経験がある18～34歳の未婚者。

図表 I -2-6 年齢別にみた、避妊の方法の割合：第15回調査（2015年）

避妊方法 (客体数)	18～19歳 (89)	20～24歳 (413)	25～29歳 (464)	30～34歳 (339)	総数 (1,305)	第13回総数 (1,548)
【男性】						
コンドーム	95.5%	94.4	95.5	95.6	95.2	94.8
オギノ式・基礎体温法	-	-	0.4	0.3	0.2	0.3
ピル（経口避妊薬）	1.1	2.4	1.7	2.4	2.1	0.9
性交中絶（膣外射精）	5.6	3.9	5.2	2.9	4.2	5.6
その他	-	-	-	0.3	0.1	0.5
避妊方法 (客体数)	18～19歳 (69)	20～24歳 (452)	25～29歳 (405)	30～34歳 (204)	総数 (1,130)	第13回総数 (1,314)
【女性】						
コンドーム	95.7%	92.9	88.6	86.3	90.4	89.5
オギノ式・基礎体温法	-	0.7	0.5	2.0	0.8	1.5
ピル（経口避妊薬）	1.4	4.9	6.7	5.4	5.4	1.8
性交中絶（膣外射精）	5.8	5.5	8.9	12.7	8.1	10.4
その他	-	-	0.2	0.5	0.2	0.5

注：対象は異性との性交渉の経験があり、かつ一番最近の経験で避妊をした18～34歳未婚者。

3. 同棲

未婚者の同棲経験割合は30代前半で1割強

同棲経験のある未婚者の割合を図表 I -2-7に示した。未婚者の同棲経験割合は第13回調査（2005年）まで上昇傾向にあった。その後、第14回調査（2010年）で一度減少に転じたものの、今回は一部の年齢層で再び上昇している。30代前半の経験割合は男性10.4%（前回8.9%）、女性11.9%（同9.3%）と1割強であった。

図表 I -2-7 調査・年齢別にみた、同棲経験のある未婚者の割合

性・年齢	第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第14回 (2010年)	第15回 (2015年)
【男 性】	18～19歳	1.2% (0.5)	0.9 (0.2)	0.6 (0.5)	1.8 (0.8)	0.9 (0.5)	0.5 (0.2)
	20～24歳	3.5 (1.0)	4.2 (1.3)	4.5 (2.1)	6.0 (2.8)	5.7 (2.5)	2.5 (0.9)
	25～29歳	3.3 (0.7)	6.7 (1.3)	7.1 (1.7)	10.3 (2.8)	11.8 (2.2)	8.6 (2.9)
	30～34歳	5.0 (1.5)	7.1 (1.6)	6.0 (1.9)	6.9 (1.8)	9.9 (1.3)	8.9 (1.6)
	総数(18～34歳) (客体数)	3.2% (0.9) (3,299)	4.5 (1.1) (4,215)	4.8 (1.7) (3,982)	6.7 (2.3) (3,897)	7.9 (1.9) (3,139)	5.5 (1.6) (3,667)
【女 性】	18～19歳	1.9% (0.8)	1.3 (0.8)	2.6 (1.0)	3.0 (1.7)	1.7 (1.1)	0.2 (-)
	20～24歳	2.7 (0.8)	3.1 (1.1)	4.4 (2.3)	7.5 (2.7)	6.7 (2.2)	5.0 (1.5)
	25～29歳	4.1 (-)	4.5 (1.4)	5.3 (1.0)	10.0 (3.0)	10.1 (2.9)	8.0 (2.1)
	30～34歳	4.4 (0.6)	6.1 (1.6)	7.6 (1.5)	8.2 (1.4)	10.6 (3.0)	9.3 (2.8)
	総数(18～34歳) (客体数)	2.8% (0.7) (2,605)	3.1 (1.1) (3,647)	4.6 (1.7) (3,612)	7.6 (2.4) (3,494)	7.3 (2.3) (3,064)	5.8 (1.6) (3,406)

注：対象は18～34歳の未婚者。表中の数値は同棲経験のある人の割合。また（）内の数値は現在同棲している人の割合。
設問「あなたはこれまでに同棲の経験（特定の異性と結婚の届け出なしで一緒に生活をしたこと）がありますか。」（1.ない、2.以前はあるが現在はしていない、3.現在している）。

第3章 希望の結婚像

是川 夕・新谷由里子

1. 希望する結婚年齢

希望する結婚年齢の上昇はほぼ頭打ち

未婚者が結婚したいと思う年齢（平均希望結婚年齢）は、各年齢層で男女ともにほぼ頭打ちの傾向がみられ、18～34歳の未婚者の平均希望結婚年齢は男性で30.4歳（前回30.4歳）、女性で28.6歳（同28.4歳）となった。

図表 I -3-1 調査・年齢別にみた、未婚者の平均希望結婚年齢の推移

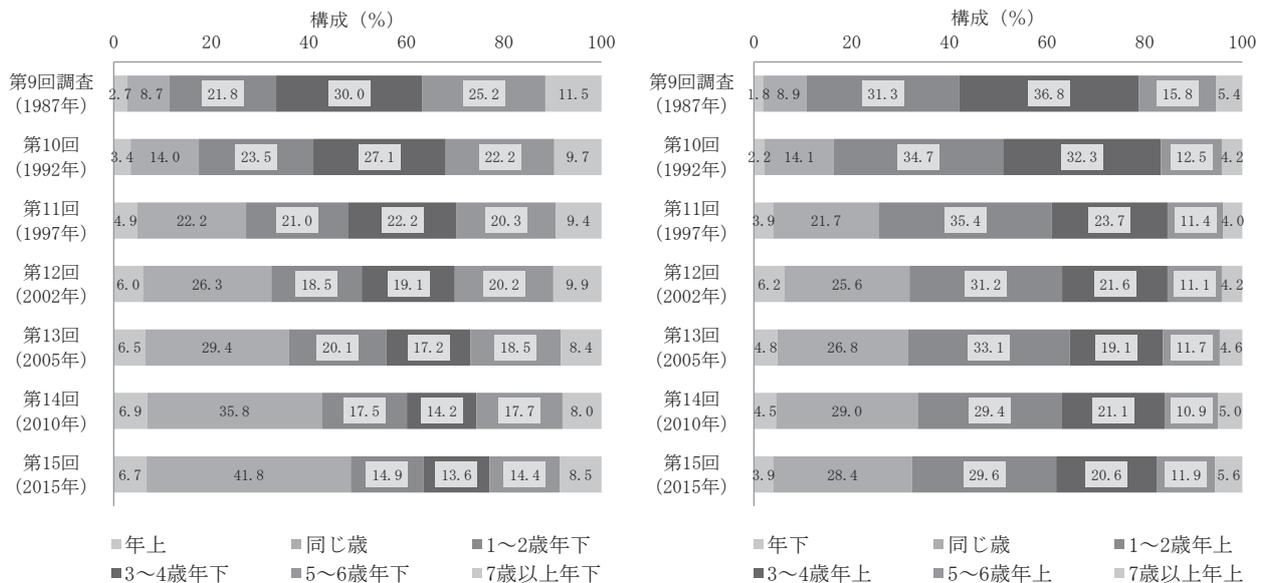
年齢		第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第14回 (2010年)	第15回 (2015年)
男性	18-19歳	26.7	27.2	26.8	27.3	26.4	27.3	27.3
	20-24歳	27.4	27.8	28.0	28.2	27.9	28.4	28.4
	25-29歳	29.5	30.1	30.4	31.0	30.7	31.0	31.0
	30-34歳	34.0	34.2	34.7	35.0	35.1	35.4	35.4
	総数 (18-34歳) (客体数)	28.4 2,610	28.9 3,439	29.3 3,040	29.8 2,910	30.0 2,396	30.4 2,830	30.4 2,108
女性	18-19歳	24.1	24.7	25.3	25.2	25.2	25.5	26.1
	20-24歳	25.2	25.7	26.3	26.4	26.5	26.6	26.8
	25-29歳	28.3	29.0	29.2	29.7	29.7	29.8	29.8
	30-34歳	33.1	33.8	34.0	34.1	34.2	34.3	34.6
	総数 (18-34歳) (客体数)	25.6 2,112	26.5 3,026	27.4 2,872	28.1 2,678	28.1 2,424	28.4 2,748	28.6 2,095

注：対象は「いずれ結婚するつもり」と回答した18～34歳の未婚者（希望結婚年齢不詳を除く）。なお、結婚希望年齢については以下の通り算出している。結婚希望年齢が50歳以上の場合は50歳とした。結婚希望年齢が現在の年齢よりも若い場合には現在の年齢を結婚希望年齢とした。なお、本調査項目は満年齢でたずねているため、平均値を求める際には結婚希望年齢に0.5を足したものをを用いている。

男性で同じ年齢の結婚相手を望む傾向が強まる

未婚者の結婚相手との年齢差についての希望をみると、近年、男女とも年齢の近い相手を希望する割合が増加傾向にある。特に、男性では「同い年志向」が増加しており、今回調査では41.8%（前回35.8%）となった。

図表 I -3-2 調査別にみた、未婚者が希望する結婚相手との年齢差の構成



注：対象は「いずれ結婚するつもり」と回答した18～34歳の未婚者(希望結婚年齢不詳を除く)。希望する結婚相手との年齢差とは、対象者が希望する、本人と相手の結婚年齢の差。不詳を除く構成。なお、第15回(2015年)夫婦調査による実際の夫妻年齢差(調査時点より過去5年間に結婚した夫婦)は2.2歳であった。

2. 希望するライフコース

この調査では、第9回調査(1987年)から、女性の希望するライフコースについてきている。女性が自らの結婚、出産、子育てと就業との関係をライフコース上でどのように組み立てたいと考えているのかを、理想とするライフコース(理想ライフコース)と実際になりそうだと考えるライフコース(予定ライフコース)としてたずねている。また男性には、パートナーとなる女性に望むライフコースをたずねている。

「実際になりそうなライフコース」は専業主婦コースが減り、両立コースが増加

未婚女性が理想とするライフコース(理想ライフコース)は1990年代に専業主婦コースが減少したが、その後は両立コースが緩やかな増加傾向にある。実際になりそうだと考えるライフコース(予定ライフコース)では、専業主婦コースの減少が現在まで続いており、今回は7.5%となった。また、これにかわって両立コースおよび非婚就業コースの増加傾向が続いており、非婚就業コースは21.0%と今回初めて2割を上回った。

「男性がパートナーに望むライフコース」も、専業主婦コースに代わって両立コースが増加

未婚男性がパートナーとなる女性に望むコースでも、女性の予定ライフコースと同様に専業主婦コースが減少し、両立コースが増加する傾向が続いている。専業主婦を望む人が1割（10.1%）に減少する一方で、両立コースを望む人は2000年前後にこれを逆転し、今回は33.9%となった。

ライフコースの説明：

専業主婦コース＝結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない

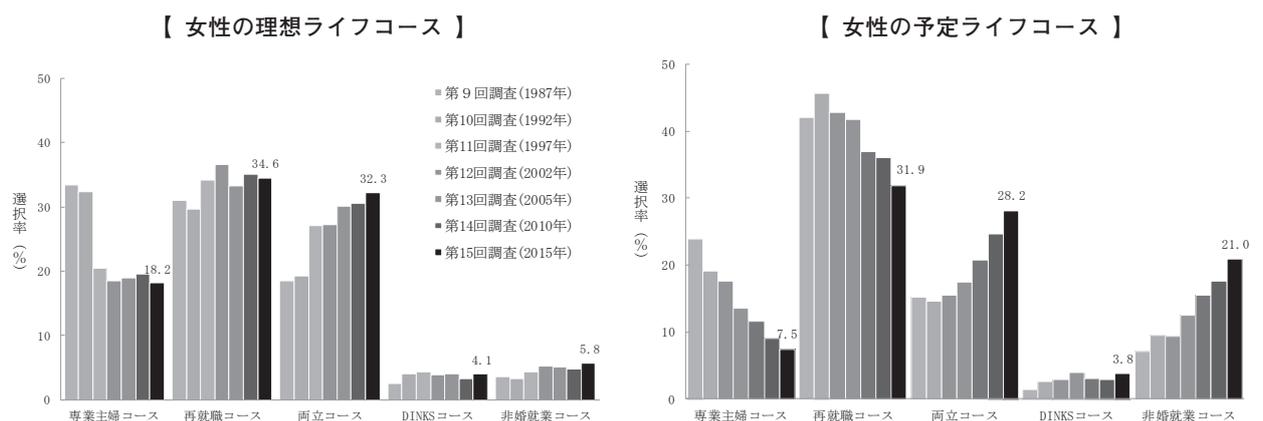
再就職コース＝結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ

両立コース＝結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける

DINKSコース＝結婚するが子どもは持たず、仕事を一生続ける

非婚就業コース＝結婚せず、仕事を一生続ける

図表 I -3-3 調査別にみた、女性の理想・予定のライフコース、男性がパートナーに望むライフコース



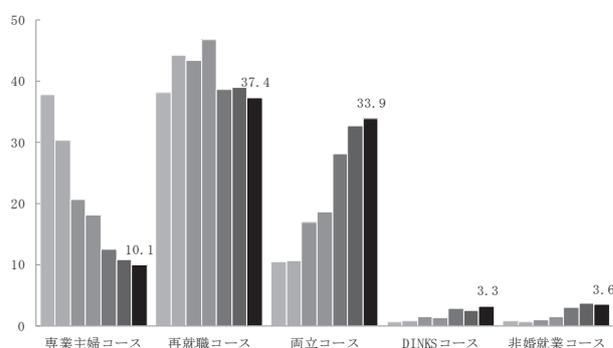
注：対象は18～34歳の未婚者。その他および不詳の割合は省略。調査別の客体数（男性、女性）：第9回（2,605、3,299）、第10回（3,647、4,215）、第11回（3,612、3,982）、第12回（3,494、3,897）、第13回（3,064、3,139）、第14回（3,406、3,667）、第15回（2,705、2,570）。

設問 女性の理想ライフコース：（第9～10回調査）「現実の人生と切りはなして、あなたの理想とする人生はどのようなタイプですか」、（第11～15回調査）「あなたの理想とする人生はどのタイプですか」。

女性の予定ライフコース：（第9～10回調査）「これまでを振り返った上で、実際になりそうなあなたの人生はどのようなタイプですか」（第11～15回調査）「理想は理想として、実際になりそうなあなたの人生はどのタイプですか」。

男性がパートナー（女性）に望むライフコース：（第9～12回調査）「女性にはどのようなタイプの人生を送ってほしいと思いますか」、（第13～15回調査）「パートナー（あるいは妻）となる女性にはどのようなタイプの人生を送ってほしいと思いますか」。

【男性がパートナーに望むライフコース】

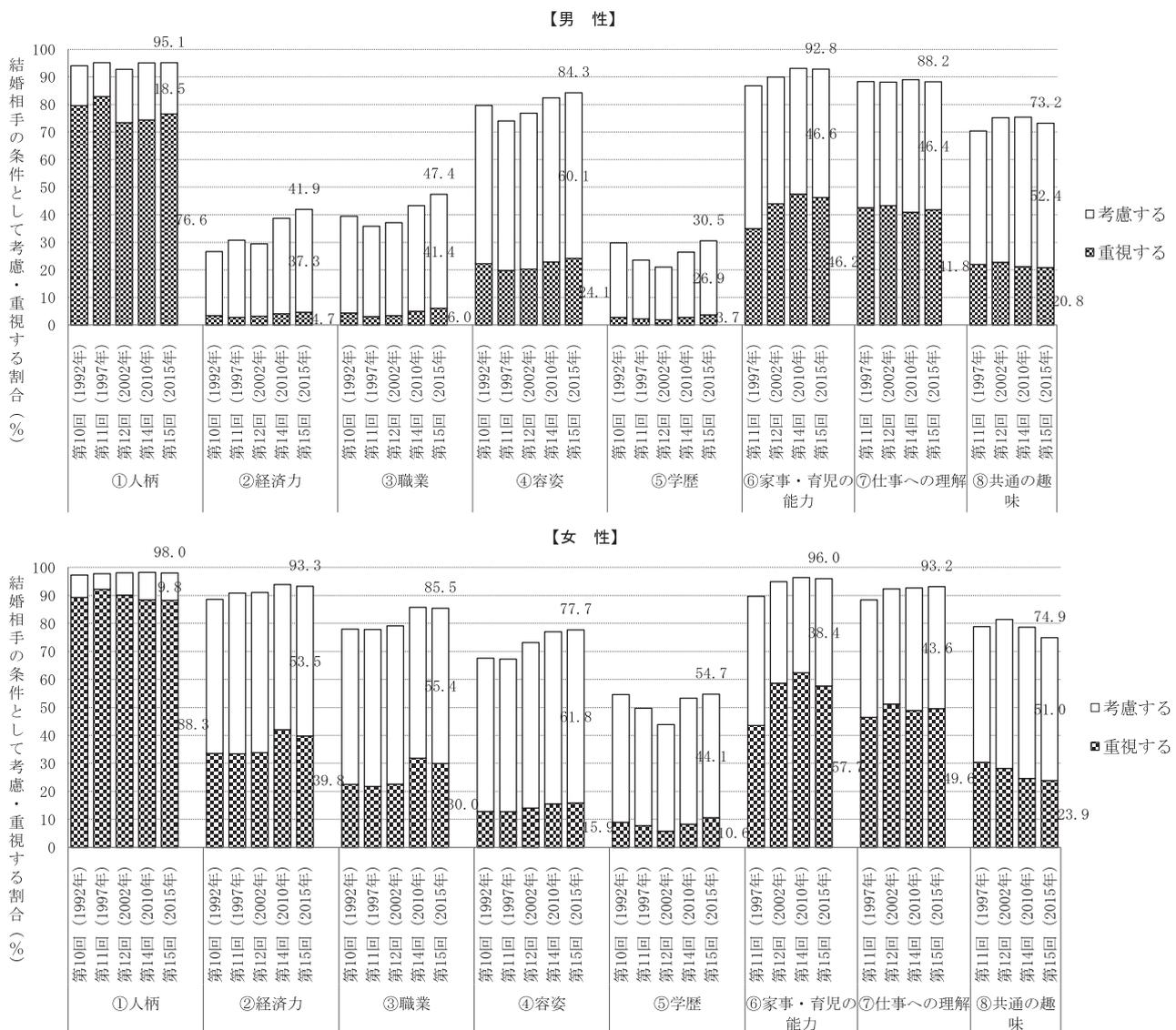


3. 結婚相手に求める条件

男女とも、結婚相手の条件として最も考慮・重視するのは「人柄」に次いで「家事・育児の能力」

結婚する意思のある未婚者が結婚相手に求める条件としては、男女とも「①人柄」を考慮・重視する人が最も多いが、「⑥家事・育児の能力」、「⑦自分の仕事への理解」も大多数の未婚者が考慮・重視している。その他、「④容姿」、「⑧共通の趣味の有無」は男女ともに考慮・重視する割合が高いことに加え、女性では「②経済力」、「③職業」を考慮・重視する割合がこれらよりも高い。しかし、近年では、男性でも「経済力」、「職業」を考慮・重視する割合が増加している。

図表 I -3-4 調査別に見た、結婚相手の条件として考慮・重視する割合の推移



注：対象は「いずれ結婚するつもり」と回答した18～34歳未婚者。
 設問「あなたは結婚相手を決めるとき、次の①～⑧の項目について、どの程度重視しますか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。」(1.重視する、2.考慮する、3.あまり関係ない)。

第4章 未婚者の生活と意識

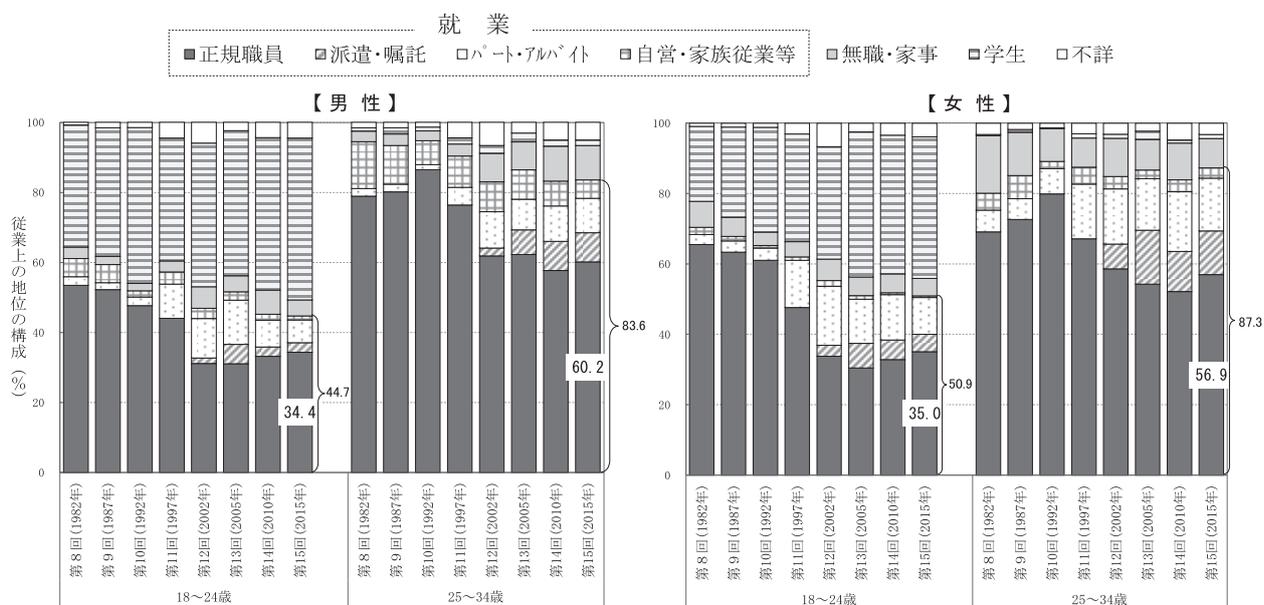
中村真理子・釜野さおり

1. 就業・親との同別居

25歳から34歳の未婚者の8割以上が就業

未婚者の就業状況を調べたところ、就業している割合は18～24歳男性で44.7%、女性で50.9%、25～34歳男性で83.6%、女性で87.3%であった。これを正規の職員に限ると、男女ともに18～24歳では30%台、25～34歳では60%前後で推移している。

図表 I-4-1 調査・年齢別にみた、未婚者の従業上の地位の構成



注：対象は18～34歳の未婚者。派遣・嘱託の区分は第12回調査で選択肢に追加（第13回調査では、さらに同区分に「契約社員」も追加）。

未婚者の親との同居率は横ばい

2000年代以降、親と同居している割合は男性では70%前後、女性では75%前後で推移している。従業上の地位別にみると、男女とも正規の職員である場合に親との同居割合が顕著に低くなっている。

図表 I-4-2 調査・就業の状況別に見た、親と同居する未婚者の割合

従業上の地位		第8回調査 (1982年)	第9回 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第14回 (2010年)	第15回 (2015年)
【男性】	総数(18~34歳)	69.6%	70.4	62.8	65.5	69.5	70.3	69.7	72.2
	正規の職員	71.1	69.8	67.4	64.8	72.3	66.9	66.7	64.7
	自営・家族従業等	88.7	88.5	85.1	81.8	79.1	81.4	81.7	83.9
	派遣・嘱託	67.1	75.3	73.3	83.3
	パート・アルバイト	64.6	77.9	71.6	75.3	80.1	80.0	83.7	81.4
	無職・家事	82.8	87.6	90.8	86.9	85.0	84.6	88.1	90.3
	学生	56.4	63.6	46.5	53.3	50.9	63.9	60.0	74.4
	(客体数)	(2,732)	(3,299)	(4,215)	(3,982)	(3,897)	(3,139)	(3,667)	(2,705)
【女性】	総数(18~34歳)	82.0%	78.0	76.7	74.5	76.4	76.4	77.2	78.2
	正規の職員	81.7	80.4	77.4	78.5	77.9	79.5	76.3	72.6
	自営・家族従業等	86.2	78.8	82.5	78.6	73.3	79.6	80.6	80.5
	派遣・嘱託	84.6	83.1	86.2	82.3
	パート・アルバイト	87.2	84.2	85.4	77.1	83.0	87.7	85.6	86.6
	無職・家事	88.7	90.3	93.3	86.4	85.2	89.4	86.9	86.8
	学生	78.0	64.9	68.6	58.9	63.9	58.8	67.8	80.5
	(客体数)	(2,110)	(2,605)	(3,647)	(3,612)	(3,494)	(3,064)	(3,406)	(2,570)

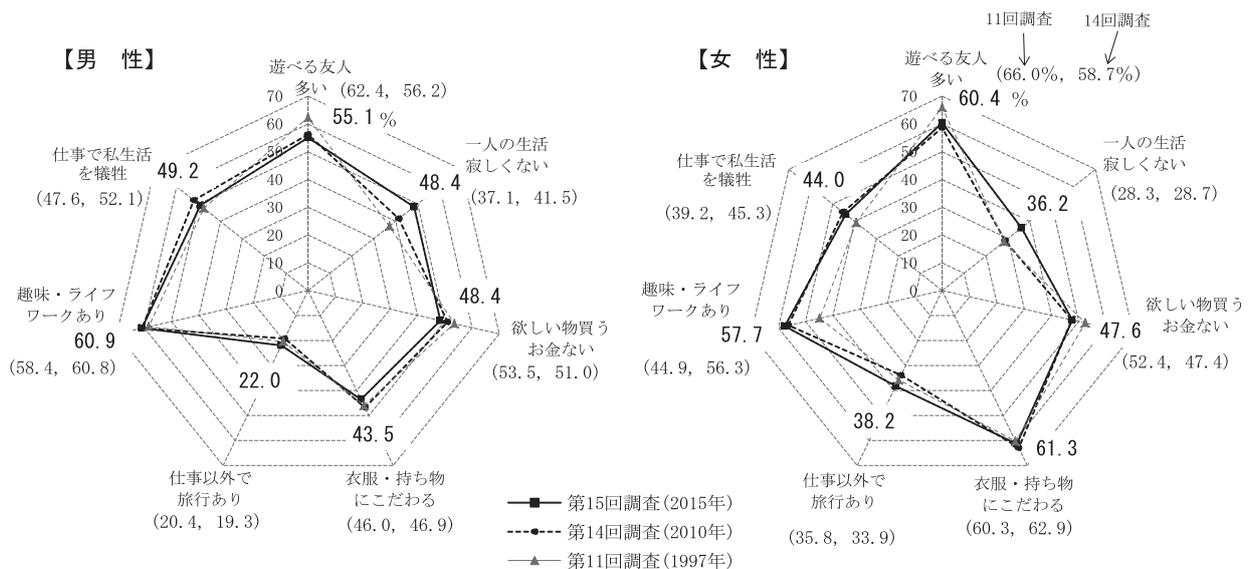
注：図表 I-4-1に同じ。総数には従業上の地位不詳を含む。派遣・嘱託の区分は第12回調査で選択肢に追加（第13回調査では、さらに同区分に「契約社員」も追加）。

2. 未婚者のライフスタイル

一人の生活を続けても寂しくないと思う未婚男女が増加

未婚者に、人付き合い、消費、仕事、生きがいの有無等のライフスタイルについてたずねたところ、女性では「衣服・持ち物にこだわる」と「仕事以外で旅行あり」の割合が高く（それぞれ61.3%、38.2%）、男性では「一人の生活を続けても寂しくない」と考える割合が高かった（48.4%）。第14回調査（2010年）と比較すると、男女ともに「一人の生活を続けても寂しくない」の割合が7%ポイント前後増加した。

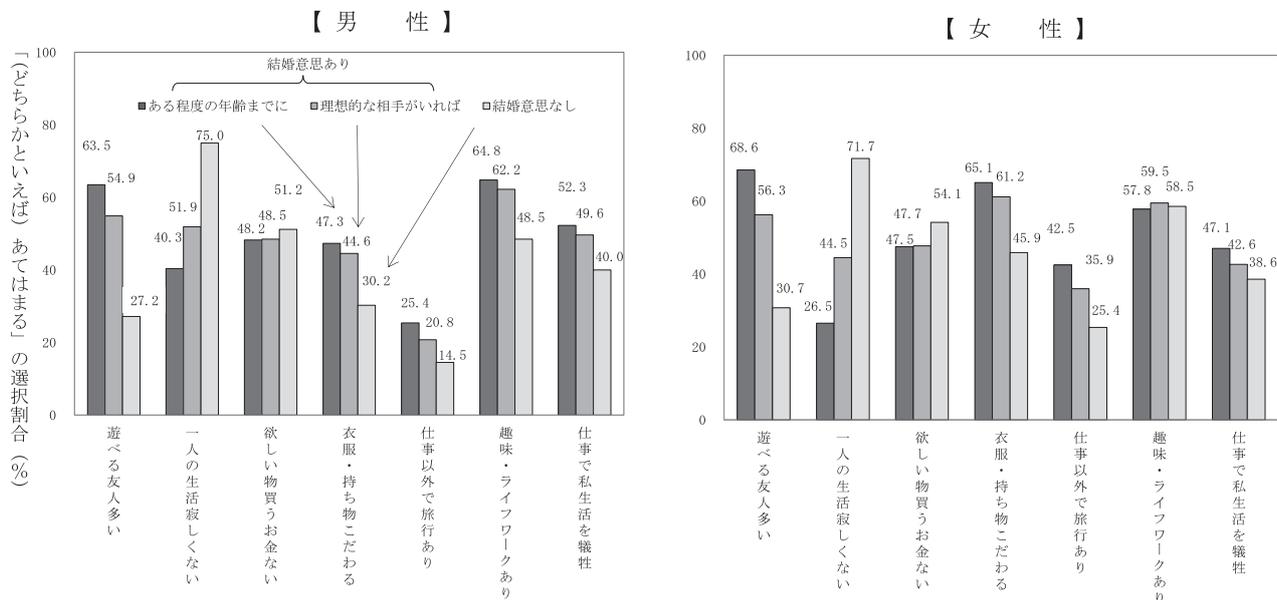
図表 I-4-3 調査別に見た、未婚者のライフスタイルの実態



注：対象は18～34歳の未婚者。「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の選択割合を合計した数値(%)を表示。第11回調査と第14回調査の数値は()内に表示。客体数は第11回男性(3,982)、第14回男性(3,667)、第15回男性(2,705)、第11回女性(3,612)、第14回女性(3,406)、第15回女性(2,570)。

結婚の意思別に比較すると、結婚意欲が高い人の方が生活全般に対して積極的である傾向がみられる。ただし趣味・ライフワークを持っている女性の割合には、結婚意欲による違いがほとんどみられない。

図表 I -4-4 結婚の意思別にみた、未婚者のライフスタイルの実態：第15回調査（2015年）



注：対象は18～34歳の未婚者。「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合計した選択割合（％）。